



曇一つない快晴の中、テープカットで開通を祝福

# 話題

## ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。  
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

## 開通で春の到来告げる

### 八幡平樹海ライン松川ゲート前で記念式

(一社)市観光協会は4月23日、八幡平樹海ライン開通記念式を行い、令和2年11月4日からの冬季間通行止めが解除されました。

式には、来賓や関係者ら約50人が参加し、峡雲荘の高橋俊彦代表取締役社長が代表してゲートを開門。開通記念品を受け取ったドライバーたちが、次々と見返り峠を目指しました。花巻市から友人と3人で訪れた鈴木泰子さんは「毎年残雪スキーを楽しみに来ている。天候に恵まれてうれしい」と笑顔で答えました。



3月18日から除雪を開始。雪壁の高さは最大9.5メートルです



両手に持った種イモを優しく植え付ける園児

## 大きく育てと願い込め

### 大更こども園で今年初めての畑作業

(福)杉の子会大更こども園は4月22日、同園隣で管理する畑「ハッピーガーデン」内でジャガイモの植え付けをしました。

植え付けは同園の年中・年長児40人が参加。園児たちは畑の脇に行儀よく列になって待機し、順番が来ると種イモを丁寧に植えました。

遠藤快子園長は「自分たちで野菜を育てて収穫し、給食で食べる食育学習。苦手な野菜を克服するきっかけにもなります」と作業する園児を温かく見守りました。



盛岡市内一周継走大会が2年ぶりに開催し、257チームが参加(4月18日、県営運動公園陸上競技場)



松川玄武岩歩道付近に群生する春の妖精カタクリの花(4月23日、松川渓谷)



加藤美南子さんを追悼する展示を開催中。終了日は未定で、エッセーや歴史小説などを展示(図書館)



オープニングで元気に踊るあしろこども園の園児たち

## 春の訪れを告げる滝と桜

### 不動の滝まつり

桜と雪の回廊八幡平ドラゴンアイ観光キャンペーンの一環である不動の滝まつりは5月3日、桜松公園で開かれ、小雨降る肌寒い天気にも関わらず、多くの観光客でにぎわいました。

会場では、あしろこども園・畑保育園園児のダンスや漆原栄美子さんの民謡歌謡ショー、浅沢子供音楽会の郷土芸能などのステージイベントが行われ、訪れた人たちは雪解けによる迫力ある滝や見ごろを迎えた桜とともにまつりを楽しんでいました。



真剣な表情でコンバインドローラーを運転

## ハンドル握り理解深める

### 寺田小の6年生対象に建設業体験学習

市建設業協同組合は4月28日、建設業に興味・関心を持ってもらおうと、(資)佐藤建設と(有)小野寺工務所をスタッフに寺田小で体験学習を開きました。

6年生7人がホイールローダーとコンバインドローラーの運転を体験。建設機械にじかに触れ、慣れない操作に奮闘しながらも楽しく学びました。

畠山あゆさんは「本物を見るのは初めてで、怖かったけど、乗ってみると楽しかった。また乗ってみたい」と目を輝かせていました。

## 真冬の熱戦準備着々と

### スキーインターハイ実行委員会を立ち上げ

令和3年度全国高等学校総合体育大会第71回全国高等学校スキー大会実行委員会が5月11日、設立総会・第1回総会を開き、令和4年2月の開催に向け、関係者一同の意識の統一を図りました。

県高等学校体育連盟など関係者43人が出席。同会事務局から開催準備の報告を受け、事業計画・予算や大会開催に伴う各種要項などを審議しました。

田村正彦市長は「本大会は国体成功の試金石となる重要な大会。市を挙げて対応する」と意気込みました。



成功を願って県高体連木村克則会長(中央)があいさつ

## コロナ禍に明るい兆し

### 高齢者施設を対象にワクチン接種がスタート

市の新型コロナウイルスワクチン接種は4月27日、高齢者施設の入所者を対象に始まりました。

この日(特非)里・つむぎ八幡平では、15人の施設入所者にワクチンを接種。対象の人数が少なかったこともあって、接種はスムーズに進みました。

同施設の高橋和人理事長は「接種後の副反応に少しの不安はあるものの、入所者の発症や症状の重症化を防ぐため、積極的に推進していきたい」と力強く語りました。



緊張した面持ちで接種を受ける施設入所者



放牧前の牛体消毒で体の汚れなどを落とす

## 悠々自適の大自然ライフ

### 晴れ渡る空の下、七時雨牧野開牧

市営七時雨牧野は5月18日、今季の放牧を始め、予防接種と牛体消毒を済ませた日本短角種31頭・黒毛和種4頭が牧野に放たれました。

放牧に先立ち、無事故を願う神事を実施。佐々木仁農林課長は「農家の皆さんから預かった大切な牛。閉牧まで事故無く管理するよう努める」と畜霊碑に祈願し、牧野監視員とともに気を引き締めました。

牛たちは閉牧となる11月ごろまで、気の向くまま駆け回ったり、草を食んだりしてのんびり過ごします。



昨年より30匹増え、二列で泳ぐこいのぼり

## 子どもたちの成長願って

### 松川下ノ橋付近にこいのぼり80匹

自然と触れ合う活動を行う平笠自然クラブ(渡辺忠一会長、会員約20人)は、平笠の松川に架かる下ノ橋付近に、こいのぼり約80匹を揚げました。

渡辺会長は「地元住民の協力を得て、今年も掲揚することができた。周囲からの評判も良く、活動への賛同者も多いため今後も続けていきたい」と意気込みました。

昨年よりにぎやかになったこいのぼりは、4月29日から5月9日まで掲揚され、子どもたちの成長を願うように元気に泳ぎ続けていました。

## すなっぶギャラリー



中のあるをゴマあんに改良し、ほうれん草あまんの販売を再開(5月1日、道の駅にしね)



正しい交通ルールを学び事故の発生を防ぐ春の交通安全教室を開催(4月22日、大更小校庭)



大更地区の史跡などを一冊にまとめ出版(5月10日、大更コミュニティセンター)



オンラインで2会場をつなぎ開催した市教育研究所教育講演会(4月30日、市役所多目的ホール棟)



「うるしとおやつ展」を開き、約100点の漆器を展示販売(4月29日～5月9日、安比塗漆器工房)